

「第20回 聞き書き甲子園」 実施要領

【趣旨】

国土の7割を森林が占め、四方を海に囲まれた日本において、人々は古くから森や海・川の自然を持続可能なかたちで利用し、自然との日常の関わりの中から生活様式・文化・伝統・技能等を育くみ、受け継いできました。

しかし、都市化が進み多くの若者が自然との関わりを失う一方、農山漁村では過疎化・高齢化が進み、農林漁業活動が低迷する今日、先人から受け継がれてきた知恵や生活技術も失われようとしています。

地球環境の保全のため、私たち一人一人の行動が求められている今、私たちは、今まさに忘れられようとしている先人から受け継いできた知恵や生活技術を改めて見だし、地域の生活様式・文化・伝統・技能等を次世代に引き継いでいかなければなりません。

こうしたことから、全国の高校生が、全国に暮らす「森・川・海の名人」を訪ね、名手・名人の知恵や生活技術、ものの考え方や生き方を「聞き書き」という手法を用いて記録し、社会一般に広くアピールする「聞き書き甲子園」を平成14年度から実施しています。「森・川・海の名人」への「聞き書き」を通して、地域の自然と人との関わりをより広い視野で捉え、持続可能な社会づくりを担う高校生の育成を目指しています。

(注) 令和元年度より、「森・川・海の名人」の推薦と高校生の受け入れに協力する市町村(地域)と連携し、実施しています。令和3年度の受け入れ市町村(地域)は下記のとおりです。

岩手県西和賀町、山形県小国町、山形県白鷹町、栃木県鹿沼市、石川県能登町、長野県飯田市(南信濃地区)、岐阜県中津川市(加子母地区)、岐阜県東白川村、福井県大野市、大阪府阪南市、岡山県備前市、長崎県大村市

【主催】

聞き書き甲子園実行委員会

(農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、NPO法人共存の森ネットワーク)

【スケジュール】

令和3年

- 5月10日（月） 募集開始
- 6月24日（木） 募集締切
- 7月下旬 参加者決定
（参加決定者及び担当教諭の方へは事務局より直接ご連絡いたします）
- 8月中旬 事前研修
（10日～13日は大阪、16日～19日は東京にて開催予定で、高校生はいずれかに1泊2日で参加。「聞き書き」の手法を学ぶ講義や実習、高校生と取材先名人の組み合わせ決定（※）などを行う）
（※）取材先は原則、同都道府県内の名人と組み合わせをいたしますが、場合により、他都道府県へ取材いただく場合があります。その場合は事前に高校生へ確認いたします。
- 8月～12月 取材・「聞き書き」レポート作成（於：全国）
（取材は原則、高校生1人で行います）
- 12月下旬 レポート提出締め切り

令和4年

- 3月下旬 フォーラム（成果発表会）
（都内での開催を予定。グループ発表や高校生と名人による体験談等を通して、1年間の成果報告を実施。一般公開）

開催にあたっては国や各都道府県の方針に従うとともに、下記の基本方針に基づき、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して実施します。

《新型コロナウイルス感染症対策 基本方針》

1. 感染防止対策

（1）「3つの密」の回避

密閉空間、密集場所、密接場面という3条件が重ならないようにするとともに、可能なかぎり「ゼロ密」となることを目指す。

（2）マスク着用や咳エチケット、手洗いや消毒による感染防止の徹底

参加者・スタッフへの周知を徹底するとともに、運営側でこまめな消毒を行い、飛沫感染防止をはかる。

（3）室内換気やソーシャルディスタンス確保の徹底

こまめな換気を行うほか、室内のレイアウトの工夫、アクリル板の設置等を行い、常に適切な距離を確保する。

（4）検温等によるスタッフ・参加者の健康状態の把握

参加者・スタッフともに、イベント参加までに発熱等の症状がみら

れる場合は自宅待機とし、イベント参加中も検温等を行い、健康状態の把握に努める。

2. 緊急時の連絡体制の確立

事前に緊急時の連絡体制を整備するほか、感染の疑いがある者が生じた場合には、速やかに保健所に相談し、必要な対策を実施する。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、開催内容が変更・延期・中止となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

また、最新の情報および新型コロナウイルス感染症対策の詳細についてはホームページ (<https://www.kikigaki.net/>) をご確認ください。

【募集要領】

1. 参加資格：参加資格は、高等学校等（※）に在籍する生徒とします。

なお、これまでに「聞き書き甲子園」に参加した経験のある方は、参加いただくことができません。

（※）定時制、通信制の高等学校、高等専修学校、特別支援学校（盲学校、ろう学校及び養護学校）、フリースクールの高等部等に在籍する生徒も含む。

2. 募集定員：「森・川・海の名入」への聞き書き 計 88 名

（各都道府県教育委員会からの推薦者を含む）

3. 参加費用：無料

下記の費用について、実行委員会が負担します。但し、先生が引率される場合、また保護者の方が同伴される場合の費用は、各自ご負担いただきます。

①「事前研修」：研修場所（大阪または東京）までの往復旅費、宿泊費

②「聞き書き取材」：聞き書き実施場所までの往復旅費（2回分）

③「フォーラム」：フォーラム開催場所（東京）までの往復旅費、宿泊費

4. 応募方法

参加希望者は、ホームページ (<https://www.kikigaki.net/>) 内の申し込み専用フォームから申し込みいただくか、各学校宛に送付する募集要項の「参加申込書」欄に必要事項を記入し、参加希望動機を書いた作文（400字程度）を添えて、6月24日（木）必着で郵送してください。（「参加申込書」はホームページよりダウンロードすることもできます）

（注）都道府県教育委員会を通して応募する場合は、都道府県教育委員会の締切日に従ってください。また、参加者推薦調書を用いる場合は、一般の参加申込書への再記入は必要ありません。

（注）FAXによる応募は受け付けません。

5. 応募条件

応募には以下の項目を全て満たしていることが条件となります。

①「聞き書き」成果（レポート：5,000字程度）を提出できること。

（成果（レポート）を提出いただかなかった場合、実行委員会が負担した経費相当額を返還いただく場合があります）

- ②大阪会場〔2021年8月10日（火）～13日（金）〕・東京会場〔2021年8月16日（月）～19日（木）〕にて実施する「事前研修会」に参加できること。
（いずれかの会場で1泊2日の参加となります。新型コロナウイルス感染防止のため、体温測定（検温）やマスク着用等にご協力いただく予定です）
- ③保護者の同意を得ていること
（参加申込書の「保護者」欄は、原則、保護者の方に記入していただくようお願いいたします。また、保護者の方の押印がないものは受付できません）
- ④参加者が取材活動等を行う際のアドバイスや緊急時等における事務局と参加者との間の連絡、調整をしてもらえる担当教諭がいること
- ⑤参加者の氏名、所属学校名等、学年が公表されることに同意すること
（記者発表資料、ホームページ等で参加者の氏名、所属学校名等、学年を公表することになりますのであらかじめご承知おきください）
- ⑥参加者が自ら作成した「聞き書き」成果（レポート）及び取材時に撮影した写真（動画を含む。以下同じ）並びに描写したスケッチ等について、当事業の普及のために実行委員会がご本人の許可を得ることなく使用する場合があることに同意すること（ホームページ、各種政府広報等で使用）
- ⑦実行委員会等が「聞き書き研修」等の際に参加者を撮影した写真について、当事業の普及のためにご本人の許可を得ることなく使用する場合があることについて同意すること（ホームページ、各種政府広報等で使用）

【決定通知】

申込者多数の場合、参加希望動機の作文による選考を行います。選考結果は、7月末までに、参加決定者に対して直接通知します。

【申込み・問合わせ先】

聞き書き甲子園実行委員会事務局(NPO法人共存の森ネットワーク内)
〒156-0043 東京都世田谷区松原 1-11-26 コスモリヴェール松原 301
TEL:03-6432-6580 FAX:03-6432-6590 E-mail:contact@kikigaki.net